

新年のご挨拶

幹事会 一同

あけましておめでとうございます。

一昨年12月2日に発足いたしました広島大学マスターズも、まる1年を過ぎて2年目に入りました。皆様のご協力をえながら、少しずつ形をなし、市民からも知られるようになってまいりました。設立趣旨にあります1)会員の親睦、2)東広島市の生涯学習等、まちづくりへの参加、3)広島大学の地域貢献のサポートを三本柱に、本年も多方面の仕事にチャレンジして行きたいと思っております。一層のご協力、ご鞭撻を切にお願いする次第であります。皆様方も、旧年にましてよいお年でありますようにお祈りいたします。

平成20年正月

出前講座の講師を募集しています

東広島市生涯大学システム運営協議会は東広島市の市民に出前講座を提供しています。出前講座は、東広島市、公的機関、団体などが提供するメニューの中から、市民団体などが希望する講座を地域へ出向いて行うものです。実施要領は下記の通りです。

広大マスターズでも、出前講座に参加を希望する講師を募集しております。参加希望者は下記事項を記入して、広大マスターズの事務局宛にメールまたは郵便等で**1月29日までにご回答**ください。

記

1. 出前講座の内容は、講師の専門分野・関連分野を市民向けにやさしく解説するもので、分野は問いません。出前講座は、1回で完結する内容でお願いします。
2. 開催日時は、原則として、平日の午前10時から午後5時までの間で90分以内です。
3. 会場は、市内の公民館や集会施設です。
4. 市民の受講料は無料です。
5. 謝金はありません。
6. その他不明の点は、広大マスターズ事務局へお尋ねください (担当：山本義雄)

出前講座へ参加を希望される会員は、添付の調査票に以下の項目を記載して、1月29日までにご回答ください。**なお、特にお申し出のない限り、平成19年度分のメニューは継続するものといたします。**

1. 氏名
2. 出前講座の内容(テーマとその内容を50字程度で記入してください)。
3. 野外観察や実験・実習で、交通費や教材費が必要な場合は、その旨明記してください。
4. その他、特記事項があれば記載してください(申込みは本通信第5頁を使ってください)。

回答のあて先

Eメール：masters@hiroshima-u.ac.jp

〒739-0043 東広島市西条西本町28-6 サンスクエア東広島3F
広島大学サテライトオフィス内
広島大学マスターズ事務局

マスターズの一年はこうして過ぎました

昨年12月2日、マスターズは満一歳の誕生日を迎えました。(総会は、年度はじめにするのがよいだろうと、一足先に第2回総会を昨年5月26日(土)に開催しました。)この間、例会開催5回、そのほかに懇親会(10/13、酒まつり初日)、忘年会(12/11、創立1周年を祝して)をそれぞれ1回行いました。大学OBの年齢層の組織としては結構賑やかな1年でありました。例会は見学会が主な内容でした。西村清巳会員が主宰するNPO法人「高原の家七塚」での自然体験(4/21~22)、酒類総合研究所(2/20)や賀茂泉酒造(12/11)での醸造過程の見学、西条国分寺跡周辺の遺跡発掘見学(3/8)、広島空港及び周辺見学(9/21)など、私たちの住む東広島市およびその周辺の自然と歴史と文化を学ぶ機会となりました。本通信も昨年末で9号(別にHMポスト1号と号外1号)をかぞえました。

一方で東広島市教育委員会の生涯学習教育事業に主体的に参加、出前講座にメニューを提供し、みずから独自企画広大マスターズ市民講座を2コース(「熟年世代の健康と食べ物」および「広島の魚文化」、各4回)を開催しました。東広島市は、私たちの活動のため、平成19年度予算を組んで応援してくれました。

10月28日には、河内町宇山ふれあい祭りに招待され、指導者と交流を深めました。農業生産法人として再出発しようとする地域から、変革期を生きる知恵を私たちは求められています。

11月3、4日、東広島市生涯学習フェスティバルが東広島市運動公園内体育館で開催され、マスターズも広いブースをもらって、市民へのアピールを行いました。好評でした。年末には、JICAひろしま国際センターと、今後の海外協力のあり方についての研修会、協議会を2度にわたって行いました。この会合は、今年も引き続いて行われます。この中から海外協力の新しい提案がかたちをなして行くことが期待されます。

会員の方々の活動も活発でありました。沖村雄二会員は安芸津町沖合の小島ホボロ島をみずから主宰する東広島市自然史研究会の市民らによびかけて調査、デイサイト溶結結晶凝灰岩からなるこの島がナツバコツブムシの穿孔によって風化、大正時代には長径120メートルあったものが現在8メートルに縮小している実態を報告、日本地質学会ニュースで大きくとりあげられました。沖村会員は、また東広島市立東志和小学校の依頼を受けて理科の出前講座を行う一方で、同校岩石園の調査を安藤忠男幹事とともに行いました。市民や児童たちに、自然科学の観察眼を育ててゆく仕事は、私たちマスターズの重要な柱になって行くことでしょう。

また岡本敏一会員が広大生協の学生組織と組んで、12月17日、安芸津町に「みかん狩り - 援農の試み」を企画。学生組織13名の学生に、マスターズの安藤、岡本、山本が参加しました。

そのほか西山啓会員の発案で、会員手持ちの古書の有効活用の提案がなされました。どれほど電子化が進んでも、書物という形式は衰えることがないでしょう。書物が、老人の書架から若者たちの手にわたって読み継がれてゆくことは素晴らしいことではありませんか。

最後になりましたが、金田晋会員が実行委員長となつてすすめています東広島市立美術館の特別企画展は今年第3回を迎え、2月から3月にかけて「陶で彩る」展を開催します。西日本一帯で目覚ましい活躍を評価されている陶芸の現代作家たちを一堂に集めて、ひじょうにおしゃれな陶磁器展になるはずです。乞ご期待。

市民講座が無事終了しました(報告)

広大マスターズ市民講座が終了しましたので、参加者のアンケート結果を含めてその概要を報告します。この講座は広大マスターズが企画し、東広島市教育委員会との共催で実施したものです。

1. 講座の概要：講座は二つのメインテーマの下に、各4つの課題で構成されました。講演課題と講演者は次の通りです。

1) 熟年世代の健康と食べ物

熟年世代の健康 角谷哲司（元広大医学部、角谷産科・婦人科医院長）
機能性食品の科学 太田安英（元広大生物圏科学研究科）
熟年世代の健康と運動 西村清巳（元広大教育学部）
過去の食中毒事件から学ぶこと 川上英之（元広大生物圏科学研究科）

2) 広島魚文化

広島のアユ 海野徹也（広大生物圏科学研究科）
魚と貝の神経 宗岡洋二郎（元広大総合科学部）
ナマズの話 宗岡洋二郎（元広大総合科学部）
広島釣と魚の話 海野徹也（広大生物圏科学研究科）

講座は、10月20日（土）より、1)と2)を交互に8週間連続で開催しました。参加者数は毎回変動しましたが、マスターズ関係者を除いて、1)については22~32名、2)については10~19名でした。参加者と講師との質疑応答も和気あいあいの雰囲気の中で進行しました。

2. 参加者へのアンケート調査の結果

講演の最終回に今回の企画について、今後の参考にするためのアンケートを実施しました。回答数は、1)と2)の講座をあわせて33名でした。

【アンケート結果の概要】

受講のきっかけは、東広島市の広報誌と新聞報道で50%くらいでした。

受講してよかったかどうかについては、90%以上がよかったと回答している。

内容の難易度については、化学や生物学の専門の分野では難解と感じた参加者は10~30%程度ありました。

実施方法については、回数、曜日、時間帯、講演時間、開催場所については、ほとんどの参加者は適当と回答しています。

今後の希望内容では、文学、哲学、歴史、野外授業、実生活に即した内容、環境学習、園芸、魚釣りの実習などがありました。

以上のアンケート結果を、幹事会で十分に検討して、次回以降の市民講座の企画に生かしたいと考えております。特に、参加者を増やすための広報活動には工夫の余地があると考えております。

3. 謝辞

今回の企画にご協力いただきました講演者の先生方には心から感謝申し上げます。



(写真は、第1回「熟年世代の健康」を講義する角谷哲司会員)

東志和小学校で広大マスターズが出前授業

広大マスターズは東志和小学校で理科の出前授業を行いました。沖村雄二会員が10月24日、5年生14人と6年生13人を対象に、6年生理科「大地を探る」、「大地の変化」を授業されました。沖村会員ご自身が世界各地で収集された化石標本（すごいものばかりです）を100点近くも持参され、子供たちはそれに手を触れながらの授業は圧巻でした。11月28日には安藤忠男会

員が、土の生い立ちと働きについて、簡単な実験を交えながら授業をしました。元気の良い子供たちと触れ合えて私たちにとっても大変楽しいひと時でした。

この授業は東志和小学校の岩石園の調査と整備に関する依頼（HM通信第7号で紹介）にマスターズが応えた事業の一環です。マスターズ会員がそれぞれ専門として研究してきたことを、小学生に分かりやすく伝えることの意義はとても大きいのではないかと思います。



(写真は、東志和小学校の岩石園で授業する沖村雄二会員)

みかん狩りに参加しました

12月17日、「みかん狩り - 援農の試み」に行ってきました。広大生協の学生組織から13名の学生が参加、マスターズからは岡本、安藤、山本の3氏が加わりました。

12時に大会館前を4台の車に分乗して出発し、昼食は蜜柑園の所有者平山さんのご好意で、おにぎりと味噌汁、焼き牡蠣などをいただいた後、13時45分ころから作業にかかりました。現場の蜜柑園は山の頂上付近にある急傾斜地で、収穫放棄されたみかんの木が30本くらいありました。15時30分に別の蜜柑園に移り17時ころに作業を終了しました。収穫したみかんは全部で約20箱くらいでした。

作業に参加した一人として感じたことは、われわれマスターズの会員だけでこのような作業は無理であると思いました。傾斜地での作業はかなりの重労働です。若い学生さんの労力がなければできない企画だと思いました。(山本義雄記)



(写真は、収穫作業を終えて気勢のあがる「みかん狩り」の参加者たち)

訃報：水上千之会員が逝去されました

昨年12月5日、国際法の権威水上千之会員（広大名誉教授、元社会科学部研究科）は心筋梗塞で逝去されました。享年65歳。マスターズからは、喪主八重子夫人に宛て、代表委員金田晋名で弔電を送りました。12月22日午後1時から、広島市のホテルセンチュリーで、ご遺族、友人、門下生などによって「お別れの会」が静粛に挙行されました。ここにご冥福をお祈りいたします。

メニュー調査票記入にあたって

ご記入にあたりましては、次の点を留意してください。

各機関・団体で業務を行っていて、市民から問い合わせが多い内容、市民が知りたいと思う内容。市民からあまり問い合わせがないが、ぜひ市民に知ってほしいと思う内容。

名称は、メニューを見てすぐ内容がわかるよう、なるべくわかりやすいものにしてください。

「内容」欄については、講座がどのような内容なのか、箇条書きで記入してください。

「所要時間」欄については、講座開催にかかる時間を記入してください。（講座は90分以内で開催することとしております。）

「開催日時（条件）の有無」について「有」の場合は、その条件（例えば、5月～12月の間のみ）を（ ）内に記入してください。

「講座における機器等の使用有無」について「有」の場合は、その機器等の名称（例えば、プロジェクタ、OHPなど）を（ ）内に記入してください。

「会場の指定（条件）の有無」について「有」の場合は、その条件（例えば、屋外、特定の会場）を（ ）内に記入してください。

「交通費等負担の要否」について「要」の場合は、その必要な経費（例えば、交通費、教材費など）を（ ）内に記入してください。

なお、一講座につき一枚の調査票をご使用ください。講座が複数ある場合は、調査票をコピーして対応してください。

☎ 東広島市教育委員会生涯学習課 TEL 082 - 420 - 0979

広大マスターズへのお問合せ等は、下記宛にお願いします。

事務局：739-0043 東広島市西条西本町 28-6 サンスクエア東広島 3 F

広島大学サテライトオフィス内

広島大学マスターズ事務局

TEL: 082-493-7965, FAX:082-493-7981

（事務局には担当者不在の場合が多いため、TEL はできる限り避けて、FAX をご利用ください。）

E-Mail: masters@hiroshima-u.ac.jp

URL: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/masters/>